

1 シンギ

2 Hedysarum Root

3 HEDYSARI RADIX

4 晋耆

5 紅耆

6 本品は *Hedysarum polybotrys* Handel-Mazzetti
7 (*Leguminosae*)の根である。

8 **生薬の性状** 本品はほぼ円柱形を呈し、長さ20~100 cm、径
9 0.5~2.5 cm、外面は黄褐色~赤褐色で、不規則な縦じわが
10 あり、しばしば横長の皮目及び側根の跡がある。外皮は剥が
11 れやすく、剥がれた跡は淡黄褐色~淡赤褐色を呈する。質は
12 柔軟で折りにくく、折面は繊維性で、粉質である。横切面は
13 皮部が類白色、形成層付近はやや褐色を帯び、木部は淡黄褐
14 色を呈し、放射組織が明瞭である。

15 本品はわずかに特異なおいがあり、味はわずかに甘い。

16 本品の横切片を鏡検〈5.01〉するとき、コルク層は6~8細
17 胞層で、その内側に2~4細胞層のやや厚壁化した柔細胞が
18 ある。二次皮層は放射組織が明瞭で、しばしば外側に裂隙が
19 認められる。師部には師部繊維束が階段状に認められる。木
20 部は放射組織が明瞭で、道管は網紋道管、階紋道管、有縁孔
21 紋道管及びらせん紋道管からなり、その周囲に木部組織が認
22 められる。師部繊維束及び木部繊維束の外辺にシュウ酸カル
23 シウムの単晶を含む薄壁性の細胞があり、縦切片では結晶細
24 胞列をなす。単晶は径7~20 μm。柔組織中に認められるで
25 んぶん粒は単粒及び2~8個の複粒である。

26 **確認試験** 本品の粉末1.0 gにメタノール10 mLを加え、10分
27 間振り混ぜた後、ろ過する。ろ液をとり、減圧で溶媒を留去
28 した後、残留物にメタノール1 mLを加えて試料溶液とする。
29 この液につき、薄層クロマトグラフィー〈2.03〉により試験
30 を行う。試料溶液10 μLを薄層クロマトグラフィー用シリカ
31 ゲルを用いて調製した薄層板にスポットする。次にヘキサン
32 /2-ブタノン/ギ酸混液(60:40:1)を展開溶媒として約7
33 cm展開した後、薄層板を風乾する。これに紫外線(主波長
34 365 nm)を照射するとき、 R_f 値0.4付近に青白色の蛍光を発
35 するスポットを認める。

36 純度試験

37 (1) 重金属〈1.07〉 本品の粉末3.0 gをとり、第3法によ
38 り操作し、試験を行う。比較液には鉛標準液3.0 mLを加え
39 る(10 ppm以下)。

40 (2) ヒ素〈1.11〉 本品の粉末0.40 gをとり、第4法により
41 検液を調製し、試験を行う(5 ppm以下)。

42 **乾燥減量**〈5.01〉 16.0 %以下(6時間)。

43 **灰分**〈5.01〉 5.5 %以下。

44 **酸不溶性灰分**〈5.01〉 1.0 %以下。

45 **エキス含量**〈5.01〉 希エタノールエキス 25.0 %以上。

46 **貯法** 容器 密閉容器。